青少年育成

　下記は、JR1OEI 岡村幸保さんが JARL 理事会に送ったメール(注;ほとんど原文のまま)です、了承を得て原稿として、採用させてもらいました。

最近問題となっている、青少年のアマチュア無線離れに危惧を感じ、青少年育成に関して、一生懸命なOMは、各局はすでにお読みいただいていると思いますが、以前CQ誌にも、関連記事を投稿され、掲載されました。

OMの主張に耳を傾け、次世代を担う若者の育成に、我々一人一人が微力であってもお手伝いができることがあればお手伝いをしましょう。

頑張れ！！ 岡村先生！！

JJ1SXA 記

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

記

JARL 理事会殿

　今年も一段と寒さが厳しくなってきました。今年もお世話になり感謝申し上げます。

　さて、JARL NEWS 1-2 月号は感激して受け取りました。会長あいさつ、青少年助成など私たちが願っていたことが動き出したと、感じました。

「ジョーウオルシュ氏に聞く」に出てくるアメリカの「教育プログラム」を見せていただけませんか。

　訳を、とりあえず JARL NEWS に載せてください、参考にしたいと思います。

HPの集まれヤングハムに載っている千葉大学付属中学校の実践は部活ではなく正課(総合学習)でアマチュア無線を取り組んだことは画期的です。運動部全盛の時代に無線もやりたい子にとって一つの解決策であると、同時に義務教育の正課にアマチュア無線が入るという快挙でもあります。部活も課内クラブも、今、学習指導要領には入っていません。部活は任意の活動なのです。CQ誌にも大々的に載せるよう働きかけてください。あちこちで、それを参考に実践されることでしょう。

ARISS も素晴らしいとは思いますが、日常的な青少年の活動が大切です、そうでないと、「打ち上げ花火」的にすぐ終わってしまいます。

　そういう意味で、日本でもARRLのように、いや、それ以上の青少年育成計画をつくりましょう、アマチュア無線を中心とした RADIO　HOBBY はやはりキングオブホビーになりえます。

　ホビーを越えて、教育的価値のある教育の一翼にすらなり得ます、電波科学、無線工学、電磁気学、電子技術、理科離れ克服、国際理解教育、外国語教育、コミュニケーション能力、国家資格取得体験、自主的・自治的活動・仲間づくりなど生徒・児童の成長・発達にとって多くのことを教育・学習できるものです。

　教育的価値という側面で教育学者に分析・検討していただきまとめていただけたらと思います、ぜひやりましょう。
　何でも「チャンス」と「勢い」が大切です、この「盛り上がりの始まり」を大切にして、一気にやるときはやりましょう。
JARD，JAIA にも自らの存在をかけてがんばってもらいましょう、メーカーや科学・技術団体、科学・技術教育団体などにも協力していただきましょう。
　そして何よりも、地域クラブなどが地元の青少年を支援することです、JARL も、助成という経済的側面だけではなく、会員の自覚を促す行動に出るべきです。
　全ての活動の中に、青少年育成の観点をもっていただくことです、とりあえず、地元の学校クラブ局を訪ね、支援について対話と交流を呼びかけてください。
　また、北海道のジュニアクラブのように地域に青少年クラブをつくるのも素晴らしいと思います、昔のように「町の OM」となって、子供たちが寄ってくるハムになりましょう。
　コンテストでは、ジュニア部門で、中学校、小学校の表彰もお願いします、高校クラブには、永遠に勝てません、そのために、中学校クラブはだんだんとやる気を失うのです、現場で毎年毎年、痛切に見てきました、これは、すぐお願いします。
　いろいろと、よろしく、お願い致します。

アマチュア無線局　JR1OEI 岡村　幸保
勤務先　昭島市立福島中学校
JO1ZHQ (昭島市立福島中学校無線部　顧問
NPO 法人　ガリレオ工房　会員
NPO 法人　理科カリキュラムを考える会　会員
社団法人　日本アマチュア無線連盟　会員
～～